

## ◆令和6年度を迎えて◆

学校法人中村学園  
 専門学校静岡電子情報カレッジ  
 静岡福祉医療専門学校  
 理事長・校長 中村 徹

桜花爛漫のこの良き日に専門学校静岡電子情報カレッジ39期、静岡福祉医療専門学校27期の入学生、また、進級した学生諸君、おめでとうございます！！

なお、修業年限2年間の在校生は、昨年入学したと思ったら、早、卒業年度を迎えたという認識を強く持ち、集大成により自己実現を図ろう。

先ずは、1月1日16時10分に発生した最大震度7の「能登半島地震」。犠牲になられた241名の方々に深く哀悼の意を表するとともに、1,300人余りの被災された方々にお見舞いを申し上げます。そして、一日でも早い復旧と復興がなされますことを、心よりお祈り申し上げます。とともに、本学園としても今後も義援金をはじめ、物心ともに復旧・復興へのお手伝いをさせていただきます。

さて、この4年間自粛を強いられたコロナ・パンデミックも、ようやく収束なのかと思えるようになってきた。

そして、気候も急に温かな春を通り越し初夏が来たと思ひしや、「寒の戻り」で寒い日も続く、三寒四温のこの時期、コロナ感染症対策で身につけることのできた「マスク着用、除菌、うがい、手洗い、水分補給」という新しい生活様式を必要に応じて活かし、体調管理には十分留意をし、皆にとって有意義な学校生活となることを祈念します。

さて、この4月は一昨年民法改正満18歳成人により、学生の皆さんは全員が成人なのです。成人としての確固たる自覚を持ち、今後の人生の糧となる職業に就くための就学に当たり、しっかりした「目標」を立て、学校生活においては学業を通して、日々の努力から「自己実現」を図るんだ、という強い心構えを確認する時期となったのです。

そして、新入生は今までの学校生活では義務教育的に与えられた学習から、これからは本学から提供される「学びの場」で、自分自身の意志と意欲で「自ら学ぶ」のです。学内環境では講義、演習、実習などで、試行錯誤の中からそのプロセスを学び、フィールドスタディで

学外では「産学連携教育プログラム」のインターンシップ、施設実習・臨地実習、卒業研究、ケアスタディ、ボランティア活動などのプログラムからも「こだわり」を持って、「自ら考え、カタチにすること」を身につけてください。これが社会に出てから「壁」にぶつかった時のそれを乗り越えることのできる、皆の「底力」(問題発見・解決力)となるのです。

要するに、学校生活を有意義にし、「なりたい自分になる」ためには、この時期に自己の「キャリアデザイン」のイメージを確認し、この具現化を図るために、「こだわり」をもって、「自らが学ぶ姿勢」にかかっているのです。

また、遠く母国を離れ、志を抱き入学された留学生、言葉や文化、風俗習慣、環境が異なる土地で就学に勤しみ、生活は慣れないことが多いと思うが、前向きな姿勢で日本の人々との交流を通して意義深い学生生活を送ってください。

そして、社会人入学された皆さんは、就学への強い意欲に敬意を表すとともに、本学の学校生活を通して、今後の人生における多様な生き方の糧を得ることを期待します。

## 1. 本学の学校生活に確固たる目標を持つ！！

本学創立者の教育理念である高い理想に基づく「挨拶を基調とした全人教育」は、本学園教育の根幹をなすもの。学校生活においては学習を通じて、社会においては仕事を通じて「自己実現を図る」という教えをしっかりと身につけ、「なりたい自分になる」という素晴らしい目標達成に向け努力し、このような教育理念を掲げる本学で学び、「これだけのことをやったんだ！」という「自信」と「誇り」を持って就職活動に、社会に己を売り込んでください。

## 2. 新入生御殿場宿泊オリエンテーション

「なりたい自分になる」ために本学の学生としての心構えの徹底と一人でも多くの「心の友」をつくることを目的とする。

本学の「全人教育」と「よりよい就職をするために」の具現化に向け、2泊3日の研修を通して、新入生相互で本学への入学目的を確認し合い、その達成を誓い合う。この目的を同じくする仲間同士でのオリエンテーション活動の成果を、今後の目的達成のための学校生活に反映させる。

先立ち、学科毎の「職業観」を確かめ、自分を主人公としてのイメ

ージ付け、シーン毎に自分がどのような専門スキルを持つことによって、自己の成長に繋がり、「しごと」の完成度が高くなり、キャリアアップに繋がれるのか？自己の完成予想図を頭に浮かべながら、自ら講義や実習を受講する姿勢を通して、自分のイメージ像をかつこよく磨き上げていくフロー(企画書)を作成してください。

また、人生における人的財産となり、お互いに切磋琢磨できる「心の友」を、この専門学校生活の中で一人でも多くつくり、「友情を育み」大切にしてほしい。

「朋友は 我が喜びを 倍にし、悲しみを 半ばにする」

これからの君たちの日々の生活が、「感動」を求め、「充実感」、「達成感」ある生活であることを期待します。

## 3. 我々を取り巻く社会的背景 時代は大きな転換期

長く続いたコロナ禍の「新生活様式」は社会のDX化を加速させ、世界的なインターネットが生み出した膨大な情報を、AI技術によって社会が活用していく新たな社会像が提起され、価値がモノから情報に移り、情報資本に立脚した社会への転換が起こされてきた。皆がこれから活躍する社会は、デジタルを活用し、AIによる情報を価値化することで優位な競争力を生む社会だ。

ゆえに、我々がこの社会で生きていくためには、これらの変化への対応力と多様性への適応力を身に着け、「新たな知識を常に取り入れていくこと」：ブラッシュ・アップが日々の生活の中に求められている。

ダーウィンは「進化論」の中で、「最も強いものが生き残るのではなく、賢い者でもなく、唯一生き残ることができるのは変化に対応できるものである」と言っている。

これから進み行くべき社会は、人口減少・少子高齢社会にAI、IoTなどの高度な技術革新の成果と、「こころ」という人間の本質的特性との共存時代である。



## 4. 目指せ！CAN スカラシップ 学生リーダー養成 「ヒトづくり」と「経済的支援」

本学校訓にある「“Why” 人間の育成」の具現化のため、学内・外の「自分磨き」の様々な活動を通して、「コミュニケーション力」「対人スキル」「問題発見・解決力」「先見性」「洞察力」「発想力」「統合力」「情報分析力」等を身に付け、「自ら考え、問題解決」でき、社会に出てから組織の中で一步前に出てリーダーシップが発揮できる変化への対応力と多様性への適応力を身に着けた人材養成を目的とした制度です。学内・外活動内容の評価により **N-CapA** と **N-CapB** に選考されます。詳細は「学生の手引」を参照。我こそはと思う学生はクラス担任に「CAN スカラシップ 自己推薦文」を添えてエントリーして下さい。

## 5. 全学科 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」

本学では各業界と連携した実習・実技等のカリキュラムやフィールドスタディ等の校外活動を通して実践的に学ぶ「産学連携教育プログラム」により、最新の「専門的な知識・技術・技能」だけでなく、「社会人基礎力」や「問題発見・解決力」等を身につける事のできる教育システムを構築。認定要件にもある「学校関係者評価委員会」・「教育課程編成委員会」・「キャリア形成促進プログラム教育課程編成委員会」を設置、年に各2回開催。委員会構成メンバーは各業界の経営者や管理者、職業人と本学教員で情報交換がなされ、カリキュラムや学生指導方針等の毎年ブラッシュアップがなされている。

## 6. 学生生活をサポートする奨学金給付・貸与制度

文部科学省「高等教育の修学支援新制度」・日本学生支援機構奨学金給付・貸与制度、厚生労働省「教育訓練給付制度」、静岡県「介護福祉士・保育士修学資金制度」認定本学オリジナル：CAN スカラシップ・遠隔地生活支援・修学奨励特別奨学金・留学生特別制度等、また学費分納制度①前・後期の2回分納②給付・貸与される奨学金の支給日に合わせた10回分納年。必要に応じて、早めに、気軽に教職員に相談下さい。



## 7. 新入生保護者様 後援会入会にあたり

令和6年度新入生の保護者様、本学園後援会に入会いただきありがとうございます。

本学後援会は、「学生に、より充実した学生生活を送ってもらう」という目的のもと、本学の教育と研究の両面で、就職活動をはじめ学生各種活動補助、入学式・卒業式に際しての支援、教育・研究環境整備への補助、専門職業教育学会への参加、産学連携・学校連携等に関する支援など、多大なご尽力をいただいております。

つきましては、**学校と家庭の両輪**で、学生たちを胸張って社会へ送り出すため、本学園の教育内容をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

## 8. 「入学と併せて、18歳成人おめでとう！」

自由・見聞が広がった分責任を伴う

「成人年齢」が、欧米諸国等の80%の国のように20歳から18歳に引き下げられた。この成人年齢とは、「独立した個人として社会に参加する年齢」ということ。具体的に何ができるかといえば、自分の意思だけでスマホやマンションの購入契約を結んだり、クレジットカードを作ったり、ローンを組んで外車の購入、または公認会計士や司法書士等の国家資格取得ができるようになる。しかし、特に注意してほしいのは「未成年者取消権」の保護がなくなり、原則として契約を取り消せなくなった。例えば、高額な商品をローンで買わされたりしても、自分で責任を負うことになる。過去、「消費者被害」が多かったのは20・21歳でしたので、これからは18・19歳が狙われやすい。

については、これからは特に「儲かるお金の話には要注意！」をすること。

困ったと思ったら早めの相談！！全国共通相談窓口「消費者ホットライン」電話「188」に相談すること。一定の期間は契約解除ができる「クーリング・オフ」制度がある。

## 9. SDGs を身近に感じ、自己改革を重ねよう！

「未来サミット2024」

近年の世界各地の紛争、自然災害、感染症のまん延などにより、今まで当たり前だった経済活動そのものが、何の前触れもなく、一瞬に停滞し、明日には仕事を失うかもしれないという現実を、我々は同時に多発的に世界規模で経験した。このような深刻なリスクのもとでどうすれば持続的な発展を遂げていくことができるのか。地球の未来に貢

献する取り組みにみんなで積極的に参加してください。「食べ物を粗末にしない」、「電気の無駄使いをしない」、「コンビニでは再利用袋を持参する」というような簡単なことから、自分の心がけを持ち、自己改革を重ねていくのです。

それでは、皆の令和6年度が実り多い学生生活となりますことを心より祈念します。

## SDGs | 持続可能な開発目標

